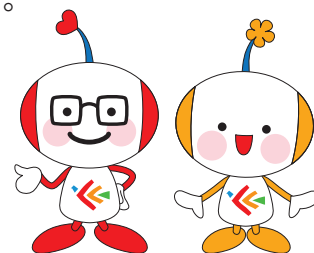




地域に根付く、 皆さまの金融機関をめざして！

「感謝・創意・挑戦・信用・喜び」それが私たちのテーマです。



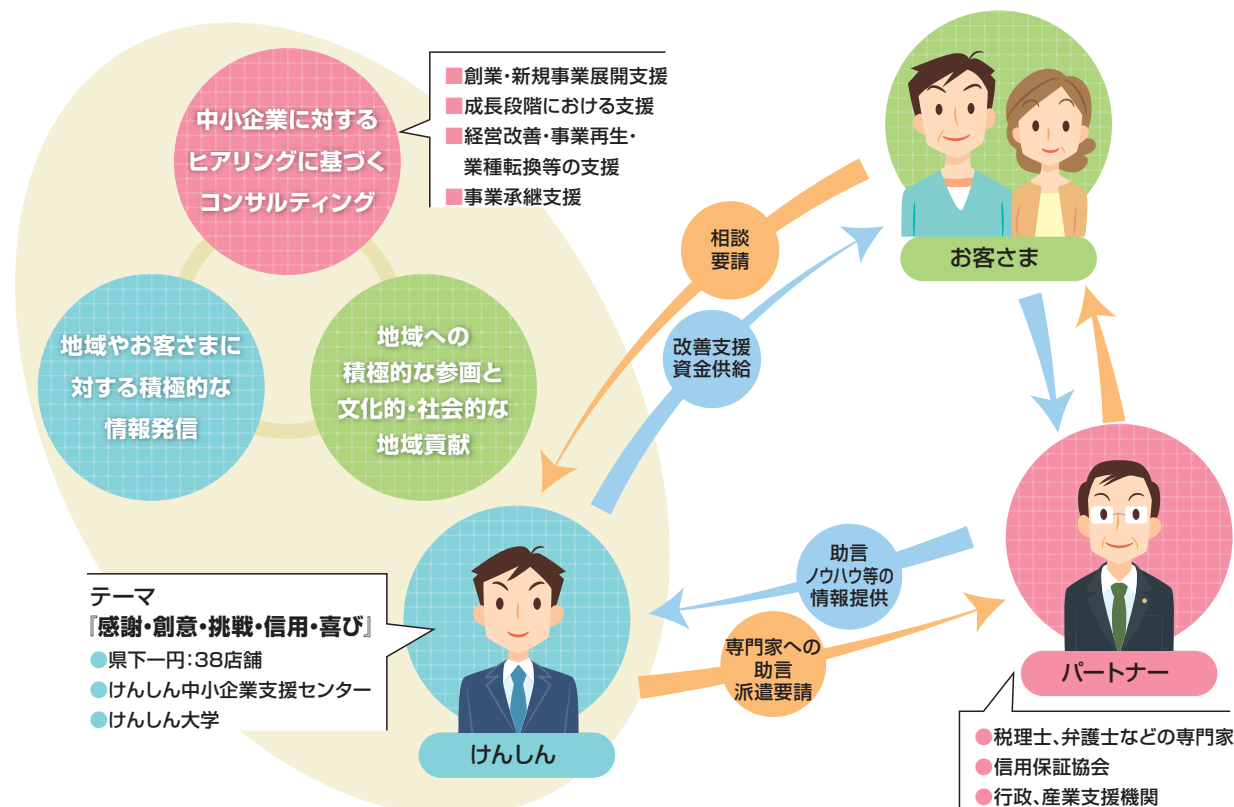
お客さま、地域に継続して 支援してまいります。

けんしんは、常に環境変化を先取りし、質の高いサービスの提供を通して、地域とともに成長することを目指しています。地域の問題を優先的に考え、より良くしていくため、大分県及び県内全ての市町村や各種団体と各種連携協定を締結しており、令和6年度は新たに、一般社団法人分県医師会、株式会社デンケン、社会福祉法人豊後大野市社会福祉協議会、社会医療法人関愛会、楊志館高等学校、大分県医療機器協会、トヨタカローラ大分株式会社、株式会社バイウィルと提携いたしました。ま

た、既存の連携を生かし、カーボンニュートラル等個別の課題解決に向けた、複数の関係者間の連携協定を締結した他、楊志館高等学校との連携に基づいた県内企業の企業説明会開催など、県内企業の人材不足解消に向けた活動も開始いたしました。

今後も、地域金融及び中小・小規模事業者の専門金融機関として、更に付加価値の高い金融ソリューションの提供を可能とする態勢を拡充し、地域密着型金融を推進してまいります。

お客さまの抱える問題やご要望にお応えするために、
様々な専門家と連携サポートし、バックアップします。



ふるさとの風景
—大分市—



高崎山



府内城址

ふるさとの風景
—別府市—



別府の湯けむり



海地獄

具体的な活動

経営環境の変化に応じた お客さまへの支援強化

地域や人との関係が希薄になりつつある中で、当組合は今こそ地域金融機関・協同組織金融機関として、中小企業の皆さまや個人の方々との関係を深め、そして応援し、お力にならなければならないということを重要な使命であると考えています。

そのため、お客さまからの資金需要のお申込みや貸付条件変更等のご相談はもちろん、お客さまとのコミュニケーションを大事にし、ニーズに合ったサービスの提供や問題解決のための支援を引続き真摯かつ丁寧に対応してまいります。

補助金を活用した支援

当組合は、中小企業経営力強化支援法に基づく経営革新等支援認定機関として、各種補助金を活用し、中小企業や創業を目指す方への支援を積極的に行っています。

創業支援（上人支店）

「訪問介護事業所開設による創業支援」

訪問介護事業においては報酬制度の変更等により廃業などを余儀なくされている事業者が散見されている中、介護事業経験のある有志が集まり、合同会社にて創業を決意。当組合にて開業予定地での市場調査から訪問介護事業におけるコンセプトの検討、想定マーケット規模と人員計画から検討した損益および収支計画など金融支援を含め総合的な支援を行わせていただきました。現在では、創業から半年で当初想定した数値計画を大きく上回っているとの報告をいただいております、今後のさらなる進展を期待しています。



経営革新計画認定後の加速化補助金申請支援（本店営業部）

「経営革新計画認定後の補助金申請支援」

令和2年度に「HACCPの考え方を取り入れた衛生管理システム導入」による経営革新を主要テーマとして経営革新計画の承認を受けられた株式会社大給様において、経営革新計画に沿った新社屋の移転や現状の衛生管理の即したシステム構築を進めていましたが、長期にわたる新型コロナウイルスの影響により、感染症への対策や安定供給を図る体制強化等を講じる必要が生じたため、HACCP認証の申請・取得に向けた取り組みまで着手できずにいました。令和6年度に入りようやくコロナ禍による影響も落ち着いてきたことから、HACCP認証の申請・取得に向けた取り組みを加速化させていくために、大分県の加速化補助金の申請を当組合へ依頼。当組合にて申請にかかる事業計画の作成等を伴走型にてご支援させていただきました。令和7年5月に目標である第三者機関からの認証を取得されました。



知的財産経営支援（下郡支店）

「キャンピングカー『STS キャンパー ㊄』のブランド化への第一歩！」

株式会社スマートトータルサービス様は、大分市明礪町に本社を構える地域密着企業です。2014年に創業し、2016年に法人化。自動車の販売・修理・整備を中心にお客様に信頼されるサービスを提供してきました。2020年からは第二の事業として、軽キャンピングカーの開発・製造・販売をスタート。軽サイズながら、キッチン装備のディープとシーサイドの2タイプから選べ、日本RV協会に加盟し、お客様に安心して購入していただけるサポート体制ができました。今回、「同社」のブランド化を進めるために当組合職員へ相談がありました。社長の熱い思いを伝えるには「商標登録」が一番と当組合職員が支援した結果、ロゴマークと標準文字の2種類の商標登録ができました。当組合が同社の『二刀流』の発展に寄与することができました。



ふるさとの風景
—日田市—



豆田町



日田温泉

ふるさとの風景
—玖珠町—



伐株山



豊後森機関庫

「経営者保証に関する取組方針」及びその取組状況

当組合では、「経営者保証に関するガイドライン」及び「事業承継時に焦点を当てた『経営者保証に関するガイドライン』の特則」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客さまからお借入や保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するため、「経営者保証に関する取組方針」を策定しております。同取組方針に基づき、経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人与経営者の関係性や財務状況等の状況を把握し、同ガイドラインの記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めております。また、どのような改善を図れば経営者保証の解除の可能性が高まるかなどを具体的に説明し、経営改善支援を行っております。

【経営者保証に関する取組方針】

詳しくは、けんしんホームページ

https://www.oita-kenshin.co.jp/policy/documents/management_guarantees.pdf

をご覧ください。

2次元コード



【「経営者保証に関するガイドライン」の取り組み状況】

	令和5年度	令和6年度
新規に無保証で融資した件数	401件	431件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	11.97%	13.31%
保証契約を解除した件数	2件	1件
経営者保証に関するガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数 (当組合をメイン金融機関として実施したものに限定)	0件	0件

けんしん大学における取組み事例～お客さまと共に考え、学ぶ取組み～

今日の多様化・複雑化した経済・社会環境変化に対して、中小企業の皆さまは多くの問題をかかえており、自社だけでは解決できない事柄や私たちを取り巻く様々な問題や出来事について、共に考え、学んでいく取組みを行っています。

事例 脱炭素社会へ ZEB で取り組む

政府方針として、2030年に温室効果ガス排出量46%削減(対2013年比)、2050年にはカーボンニュートラル(CN)を目指すことが表明され、脱炭素あるいはCNへ向けた取組みは喫緊の国民課題であります。

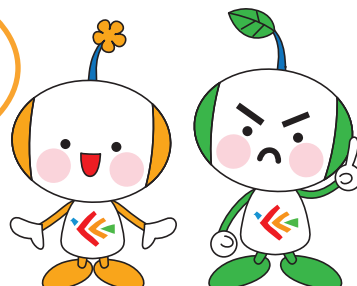
こうした中、令和6年度の1学期のけんしん大学は、県民・市民レベルでの脱炭素・CNへの啓発や機運醸成への寄与および各々の事業者の取組みへの参考とすべく、「脱炭素・カーボンニュートラルへの取組み」をテーマとした講座を実施しました。

令和6年7月に開催した講座では、鬼塚電気工事株式会社代表取締役会長 尾野 徹氏を講師にお招きして、国の認証基準である「ZEB※」(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)に関して、その意義や認定取得への工程、補助金の活用などについて、実際の設備を見学しながら、講義をしていただきました。同社の先進的な取り組みを通じて脱炭素社会へ向けた具体的な事例を学べる貴重な機会となりました。

※「ZEB」：(Net Zero Energy Building ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の略で年間の一次エネルギー消費量の収支がゼロまたは概ねゼロになる建築物を指します。



けんしん大学はお客さまと
けんしん職員が共に学べる
場所なんだ



参加は無料です。気軽にご参加ください。
詳しくは、けんしんホームページ
<https://www.oita-kenshin.co.jp/jyukou/>
をご覧ください。

2次元コード→

